



高浜市の未来を描く市民会議

ニュースレター 2010. 7. 29(木) VOL.8



事務局: 高浜市地域協働部地域政策グループ 高浜市青木町四丁目1番地2 TEL0566-52-1111(内線 352)

市民会議による 総合計画基本計画(素案)ができあがりました!!

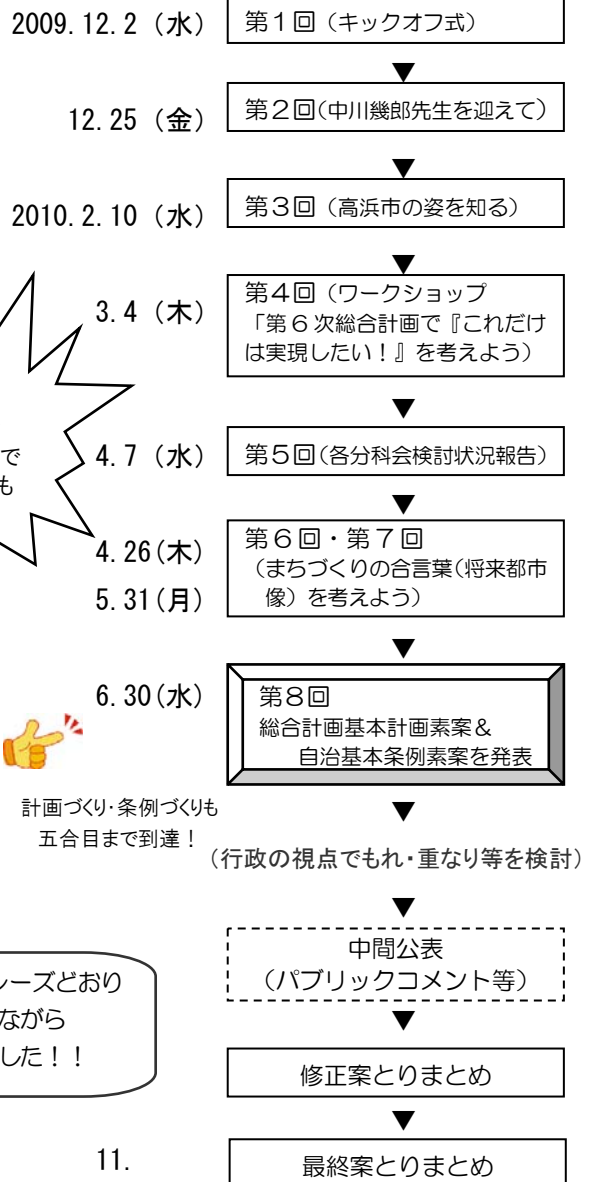
6月30日(水) 中央公民館にて8回目の市民会議を開催しました。参加者は、100人でした。
この日のテーマは「総合計画基本計画(素案) & 自治基本条例(素案)を発表しよう!!」

「基本計画」は、将来都市像(案)「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向けて、高浜市の現状や課題を踏まえて、「高浜市がこんなまちになったらいいな」「高浜市をこんなまちにしていきたい」といった目指したい姿、目標値、目標達成に向けての取組内容を具体的に描いたものです。これまでに約80回もの分科会活動を重ね、市民会議としての素案がまとまりました。この日は、各分科会で議論・検討を重ねたアイデアを発表していただくことで、他の分科会との情報交換や共通部分の発見などができました。今後は、発表された素案を受けて、行政の各担当グループでモシや重なりを確認・調整し、財政計画とのすり合わせを行った上で、再度、市民会議でその内容をお知らせします。また6月議会の最終日に、総合計画の基本構想部分に加えて「基本計画部分も議決の対象とする」という条例が議員提案され、議員全員の一致により可決されました。市民の代表者である議会の責任ある合意形成によって、第6次総合計画がしっかりと担保されることになり、これまでの総合計画よりも重みを増してくることになります。



基本目標のキャッチフレーズどおり
みんなで汗をかきながら
ここまで考えてきました!!

市民会議 これまで・これから



この間分科会活動だけで約80回も開催!



計画づくり・条例づくりも五合目まで到達!

(行政の視点でもれ・重なり等を検討)

今年の夏はますます暑く(熱く)なりそうです!



◆中川幾郎先生（総合計画審議会会長）より講評

<全体を通して>

- ・ メリハリがきいていて、分かりやすく、とても感心した。
- ・ まち協とのパートナーシップを結ぶという視点を全体的に持ち、横ぐしを通していくと良い。



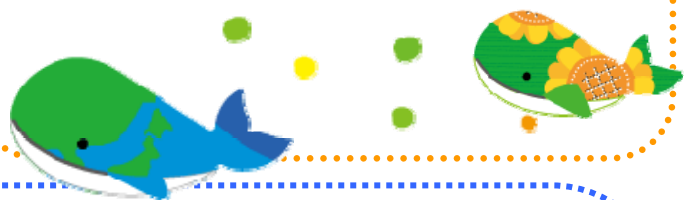
中川幾郎先生

<自治基本条例>

- ・ よくここまでまとめた。とてもすっきりしている。
- ・ 行政として検討していただきたい宿題として「行政評価」「公益通報制度」「外部監査制度」「参画機会」がある。例えば、参画については「機会を設ける」ではなく、「パブリックコメント（意見聴取）」「審議会の委員公募」「行政評価」などを記載しているところもある。また、外部監査はコストも手間もかかるため、よく協議をしていただきたい。
- ・ まち協は、今後は条例に担保された公共的団体となる。地域計画の策定も必須になり、地域計画は総合計画との整合性を取らなければならない。
- ・ 議会や議員の役割・責務の部分は空白となっているが現在、検討されているとのこと。先の議会で議員全員一致により、総合計画の基本計画までを議決対象にしたということは心強い。つまり、議会も行政と共同で、執行までを含めた連帯責任を負うということであり、これからは行政が勝手に事業をやるということが出来ないということになる。

◆吉岡初浩市長のコメント

- ・ 自由な議論から形になり、面白いものが出来てきた。ページをめくるごとに期待感がある。
- ・ 整合性が取れているか、抜け落ちが無いかをこれから行政の目で、確認をしていく。
- ・ ここに書いてあることは、実際に行うこと。本当に未来を描いていく。中間公表などのパブリックコメントの機会に、日常生活の中で感じる想いをコメントして欲しい。
- ・ 将来都市像（案）に掲げたキャッチコピー「大家族たかはま」のとおり、市民のみなさん一人ひとりが傍観者ではなく、大家族の父親、子ども、あるいは隣人として高浜市づくりに参画してもらうことで、大きな力になる。そのためにはもっとさまざまな情報をお出しすることも大切。また審議会を公開しているので傍聴に参加するなど、次に活かしていただきたい。



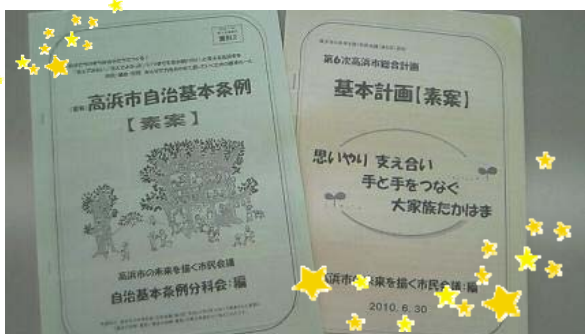
【編集後記】

第8回に配布された『第6次高浜市総合計画 基本計画（素案）』の1ページ目には『活動開始から約半年、これまでに全体会を7回開催、10のテーマに分かれての分科会は約80回を数え、高浜市を未来に向かってつないでいくために熱い議論を繰り広げてきました。内容はまだまだ粗削りかもしれませんが、ここには、私たちの高浜市に対する愛情がたっぷり詰まっています』という一文があります。

7か月間で80回の分科会、つまり3日に一度はどこかの分科会が開催されていたことになり、その軌跡や思いの詰まった冊子は重く感じます。

現在、庁内のあちらこちらで市民会議作成の素案を基に「これからの高浜市はどうあるべきか」会議が行われています。行政の目で検討した内容は再び皆さんにお返しし、キャッチボールをしながら計画内容をよりよいものにまとめていきたいと思えます。

ますます暑い夏になりそうです。(K.K)



血と？汗と？涙の結晶？



これまでに開催した審議会・市民会議の資料・記録等を市公式HPに掲載しています。

<http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/seisaku/index.html>

→「高浜市総合計画審議会」「高浜市の未来を描く市民会議」の項目をご覧ください。

